

Doc 668A

EXHIBIT NO. 1971A



外事月報 昭和十七年九月分

內務省警保局外事課

NO 1

FILE COPY

RETURN TO ROOM 361

Doc 668A

NO. 2

一、俘虜使役の状況

(三) 最近に於ける勞務需給事情及俘虜使役要綱の議定
本邦に於ける勞務需給の状況は相当逼迫せる趨勢を示し、殊に最近に於ける勞働力不足は逐次深刻化しつつある虞、之に対し今次大東亞戦争の戦果に依り我方に俘虜となり豫而善通寺及南方諸所に收容中の敵兵人も所要に應じ使役せんと議各方面に起るに至れり。

斯くて企画院に於ては陸軍俘虜管理部の委嘱に基き去る八月十五日俘虜の内地移入並勞働使役に関する會議を主催し、其の會議に於て敵兵人俘虜の内地移入を圖り勞務不足の緩和及特殊重要業務の遂行に資せしむべく、概ね左の要綱に付審議を経、之を實施することとふりたり。

1. 俘虜は之を國民動員計畫産業中鉱業、工役業及土木建築業の所要勞務に使役することとし、差当り重要港湾荷役ニ付實施すること。
2. 差当り三千五百名内外を移入することとし、其の使用の成績に依り漸次之が增加を圖ること。
3. 俘虜使用に関する手續は地元地方長官より厚生省を經由し之をなすこと。
4. 道府縣内に於ける俘虜使用に関する計画指導其の他現場の就勞管理に関する事務に付ては軍の承認を受け地方長官又は其の指定する勞務関係團體に於て之を行ふことを得ること。

Doc 668A

5. 本電網に依り差きり内地に移入する浮屠の
浮屠收容所は左に依り設置すること。

東京	六〇〇名
横浜	六〇〇名
大阪	六〇〇名
神戸	五〇〇名
広島	一〇〇名
門司	五〇〇名
戸田	五〇〇名
室蘭	三〇〇名

(三) 善通寺浮屠收容所收容客浮屠の使役

之州項浮屠の移入使役の計畫に先だち別に善通寺
浮屠收容所に收容中の浮屠の一部は既に労働に就役し
つゝあり。即ち去る一月十四日開設を見たる善通寺浮屠收
容所に在りては豫而クア公島に移ける米玉人は浮屠等約
四百五十餘名を收容し、内米玉人百五十名は去る六月九日
大阪に勿意、大阪市港區入幡屋松之町市立運動場に
收容され、同月十二日以來港灣存役に就き居れり。

其の就役状況を概観するに一日八時間就働し主として
單調なる一般存役に従ひ、能率的には輕量品の取扱に於て
本邦人に比し格別の差異なき実績を示し居れるも、重量
物件の取扱乃至操術を要する作業に於ては能率極めて
低調なる状況なり。

而して其の賃金は大阪地區港灣運送業会存役統制

111.3

Doc 668A

NO. 3

5. 本電網に依り、差支り内地に移入するが、役の
俘虜收容所は左に依り設置すること。

東京	六〇〇名
横浜	六〇〇名
大阪	六〇〇名
神戸	五〇〇名
広島	一〇〇名
門司	五〇〇名
宇治	五〇〇名
室蘭	三〇〇名

(三) 善通寺俘虜收容所收容俘虜の使役

前項俘虜の移入使役の計畫に先だち、別に善通寺
俘虜收容所に收容中の俘虜の一部は既に労働に就役し
てあり。即ち去る一月十四日開設を見たる善通寺俘虜收
容所に在りては豫而クア公島に於ける米玉人俘虜等約
四百五十餘名を收容し、内米玉人百五十名は去る六月九日
大阪に勿遣、大阪市港區入幡屋松之所市立運動場に
收容され、同月十二日又米老灣に役任に就き居れり。

其の就役状況を概観するに一日八時間就働し主として
單調なる一般役任に従ひ、能率的には輕量品の取扱に於て
本邦人に比し格別の差異なき実績を示し居れり。重量
物件の取扱乃至操術を要する作業に於ては能率極めて
低調なる状況あり。

而して其の賃金は大阪地區老灣運送業会役統制

致に於て各利用業主より一日二円の單價に依り徴收し、金額を軍納入費、俘虜休養施設費、軍防獻金及雜費等に振向けられ、比較的低廉なる賃金は業者をして俘虜使用の利得を意識せしめ、倍々需要漸増の傾向を助長しつつあり。

敘上俘虜使役の結果は港灣石役業界に対し、港灣仲仕の閑賃金印騰の抑制、作業能率の向上、常備仲仕の散逸防止等の効果を齎したり。

又高松市新港町四丁目三日本通運株式会社高松支店に於ては、去る六月二十日より約一ヶ月間に亘り、戦時下物資輸送促進の爲、善通寺俘虜牧客所中の敵兵一人俘虜一日二十名内外を高松駅構内に於て石役に使役し、相當の効果を収めたり。

證明書

ワシントン文書局

手

号

國際檢察部

才六六八A号

典據及び公正に關する證明

668A

余、柴田小三郎ハ余が下記ノ資格ニ於テ、即チ内務事務官トシテ、日本政府ト公的關係在モノナルコト、証ニ該官吏トシテ余が茲ニ添附セラルレリ、全一頁ヨリ成ル、千九百四十二年ノ昭和十七年ノ九月附、下記題名、即チ外事月報ノ文書ノ保管ニ任シ居ルコトヲ証明ス。

余ハ更ニ添附ノ記録及ビ文書ガ日本政府ノ公ニ書サレト、証ニ右下記名稱ノ省又ニ部局ノ公式書類及ビ綴ノ一部ナルコトヲ證明ス。(若シテハ綴査ヲ又ニ引用、其他公式書類又ニ綴於ケル該文書、成現所在、公式名稱ヲモ特記スベシ)

内務省

千九百四十六年ノ昭和二十一年ノ十二月四日

東京ニ於テ署名

当該官吏署名欄

右ノ者ノ公的資格

證

人

柴田小三郎

(印)

内務省警保局公才二課二級
事務官

岡田政一

(印)

公式入手ニ關する證明

余、J.A. Curtis ハ余が聯合國最高指揮官總司令部ニ關係アリタルコト、証ニ上記題名ノ文書、余が公務上、日本政府ノ上記署名官吏ヨリ入手シタルモノナルコトヲ証明ス。

千九百四十六年ノ昭和二十一年ノ十一月五日

東京ニ於テ署名

氏名欄

右ノ者ノ公的資格

證

人

J. A. Curtis Lt.

國際檢察部調査官

Richard H. Larch